

島原半島ユネスコ  
世界ジオパーク

# 再認定 決定!

ジ  
ー  
オ



だ  
よ  
り



号

外

発行所  
島原半島ジオパーク  
協議会事務局  
E-mail  
info@unzen-geopark.jp  
TEL  
0957-65-5540  
創刊 2017年12月1日

## 日本審査の雪辱果たす



2月1日深夜、フランスのユネスコ（国連教育科学文化機関）から「島原半島ユネスコ世界ジオパークが再認定された」と連絡がありました。

昨年、7月3日から5日まで3日間にわたりスペインと中国からの審査員による再認定審査が行われ、事務局はもとより認定ジオガイドやジオパークサポーター、高校生などが過去4年間の活動の実績やサイトを案内しました。

審査後の講評では「島原半島の人々の熱意が素晴らしい」と発言され、特に教育プログラムに高評価を頂いております。

関係者のコメント（抜粋）をご紹介します。

■島原半島ジオパーク協議会会長 古川島原市長

「一昨年の日本ジオパーク委員会から2年間の条件付き再認定を受け、危機感を持って、世界再審査に取り組んでまいりました。共にご対応いただいた島原半島住民の方々や関係機関の皆様方のご努力のおかげで今回の結果に結びついたものと思えます。改めて心から感

謝申し上げます。

■同協議会副会長 金澤

雲仙市長「ジオパークを通じて地域資源を守りたいという皆様の想いが、今回の結果に繋がったと思います。今後も3市と

■同協議会副会長 松本

南島原市長「3市をはじめ長崎県が一体となり、また市民の皆様とともに

■本多俊一さん（本多木蠟

工業所）「ジオパークとのつながりを深め、和蝋燭を広め販売につなげていきたい」

■水田喜代治店長（ファミリーマート城下町店）

「おめでとうございます。島原半島とそこに住む人々のさらなる飛躍を願います」

■長崎県立口加高等学校

「英語力も表現力もあまり自信がありませんでしたが、香港の学生や審査員の方の前で発表をし、真剣に聞いてくださったので自信ができました。普通の高校生活を送っていたら絶対に体験できな

いことをたくさんさせていただき、成長することができました」（井上祐香さん）

「ジオパークについて発表に向けて調べていくうちに、私が知らなかった南島原を知ることができて南島原のことが好きになりました」（塩田夏詩江さん）

「グローバルコースの活動として行ったことが評価されて本当に嬉しいです。（審査員に）早崎の説明をするために、たくさん調べたり実際に行動してみたり大変なこともあったけど、みんな協力して伝えることができてよかったです。そして、それがジオパークの認定に繋がったことで、自分たちがやってきたことに自信をもてました」（森北詩音）

■ミヤタファーム宮田和

晃さん「再認定おめでとうございます。農業従事者として、ジオに一番関係していると思います。今後は、よりジオ協と連携して自信をもって自分たちが生産した農作物をアピールしていきたいと思えます」

■井手大剛さん（榊洗陽

電機）「あーよかったです」

■金子加代子先生（童話

の会くすのき）「審査に通ることをずっと願ってました！嬉しいですね！」

■北田貴子さん（北田物

産）「本当によかった。ほっとしました。ここま

で長かったです。島原半島に生きていることがジオパークそのもの。それを認めていただけたのがよかった」

■雲仙小学校「学習の一

環で、ジオパークについて調べたことを『子ども観光ガイド』として観光客に紹介していますが、みんな協力して頑張ってきたことが、審査員の方々に認められてとても嬉しいです。ジオパークについて、これからいろいろなることを調べていきたいと思えます」（馬場愛菜さん）

「『子ども観光ガイド』

を披露した時はドキドキしたけれど、再認定が決まって嬉しいです。これからもジオパークの魅力

を伝えていきます」（草野優良さん）

■福田葉子さん（雲仙

福田屋）「よかったです。ほっとしました。結果の通知が遅かったので心配しました。まだ地元にはジオパークの取り組みを知らない人が多いので、関係者だけでなく、さらに地元はこの活動を広めていきたいです」

■認定ジオガイド永田班

長長「本当にうれしく思うとともに身の引き締まる思いでいっぱいです。私たちの故郷を、次世代や世界中の人たちに知ってもらい楽しんで頂くために、ガイドはさらに学び守り伝えたいと思いま

す」